

レジメン名 ATO(トリセノックス)療法 寛解導入

対象疾患 急性前骨髄球性白血病(寛解導入)

ChemoNavi					治療内容 day1~60																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬品名(成分名)</th> <th>投与量</th> <th>投与日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トリセノックス(三酸化二ヒ素)</td> <td>0.15mg/kg</td> <td>day1-60</td> </tr> </tbody> </table>			薬品名(成分名)	投与量	投与日	トリセノックス(三酸化二ヒ素)	0.15mg/kg	day1-60	投与サイクル数	1サイクル (寛解が得られるまで)	① 生理食塩液 100mL ルート確保・フラッシュ用 ↓ ② 生理食塩液 100mL トリセノックス mg 点滴、1時間 10:00~11:00																				
薬品名(成分名)	投与量	投与日																													
トリセノックス(三酸化二ヒ素)	0.15mg/kg	day1-60																													
			総投与時間	1時間10分																											
			血管外漏出リスク	トリセノックス(三酸化二ヒ素): 炎症性抗がん剤																											
			投与時の注意事項	・トリセノックス投与に使用した輸液バック、ルートは薬剤部に返却する。																											
投与スケジュール																															
ATO療法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>治療日</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>..</th> <th>..</th> <th>..</th> <th>..</th> <th>..</th> <th>..</th> <th>60</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トリセノックス</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>			治療日	1	2	3	4	5	60	トリセノックス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
治療日	1	2	3	4	5	60																			
トリセノックス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																			
1サイクル60日			備考欄		白血球増加症発現時はイダマイシンを併用する。 別紙ATO(寛解導入)IDA追加投与の指示書を参照 共有フォルダ→22化学療法指示書→ホルモン以外指示書にあり。 APL分化症候群発現時は副腎皮質ホルモン剤のパルス療法等の処置を行う。																										

レジメン名 ATO(トリセノックス)療法 地固め

対象疾患 急性前骨髄球性白血病

ChemoNavi					治療内容 day1~25																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬品名(成分名)</th> <th>投与量</th> <th>投与日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トリセノックス(三酸化二ヒ素)</td> <td>0.15mg/kg</td> <td>day1-25</td> </tr> </tbody> </table>			薬品名(成分名)	投与量	投与日	トリセノックス(三酸化二ヒ素)	0.15mg/kg	day1-25	投与サイクル数	1サイクル	① 生理食塩液 100mL ルート確保・フラッシュ用 ↓ ② 生理食塩液 100mL トリセノックス mg 点滴、1時間 10:00~11:00																																	
薬品名(成分名)	投与量	投与日																																										
トリセノックス(三酸化二ヒ素)	0.15mg/kg	day1-25																																										
			総投与時間	1時間10分																																								
			血管外漏出リスク	トリセノックス(三酸化二ヒ素): 炎症性抗がん剤																																								
			投与時の注意事項	・トリセノックス投与に使用した輸液バック、ルートは薬剤部に返却する。																																								
投与スケジュール																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="13">ATO療法</th> </tr> <tr> <th>治療日</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>..</th> <th>..</th> <th>..</th> <th>..</th> <th>..</th> <th>..</th> <th>25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トリセノックス</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>			ATO療法													治療日	1	2	3	4	5	25	トリセノックス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
ATO療法																																												
治療日	1	2	3	4	5	25																																
トリセノックス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																
1サイクル25日			備考欄	APL分化症候群発現時は副腎皮質ホルモン剤のパルス療法等の処置を行う。																																								